



平成30年11月8日

各 位

会 社 名 株式会社ゲームカード・ジョイコホールディングス
代表者名 代表取締役社長 蒔田 穂高
(コード番号：6249)
問合せ先 執行役員 管理本部長 加藤 節郎
(TEL：03-6803-0301)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成30年5月10日に公表いたしました通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

●業績予想の修正

平成31年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 14,200	百万円 1,200	百万円 1,200	百万円 800	円 銭 56.09
今回発表予想(B)	15,000	2,000	2,000	1,400	98.16
増減額(B-A)	800	800	800	600	
増減率(%)	5.6	66.7	66.7	75.0	
(ご参考)前期実績 (平成30年3月期)	16,928	3,596	3,594	2,318	162.55

修正の理由

当社グループの主な顧客先であるパチンコホールにおいては、本年施行された風営法施行規則等の改正やギャンブル等依存症対策基本法による影響の下、娯楽の多様化等による遊技参加人口の減少が続き、依然として厳しい状況にあります。低玉貸し営業の定着及び射幸性が抑えられた遊技機の普及により、社会的ニーズである「のめり込み防止」へ繋がることも期待されます。

このような状況の中、当社グループは前期より「構造改革の完成と効果の最大化」をテーマとし、経営のスリム化に取り組みつつ、積極的な営業活動を推進した結果、予想を上回る売上高を確保する見通しとなりました。一方、研究開発においては、改正後の風営法施行規則等に沿った製品の開発について、一部の開発計画が来期以降へずれ込むため、当初予想の営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益を大きく上回る見込みとなりました。

※将来に関する記述等についての注意事項

上記の業績予想は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した将来の予想であり、実際の業績は、様々な要因の変化により、これら業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上